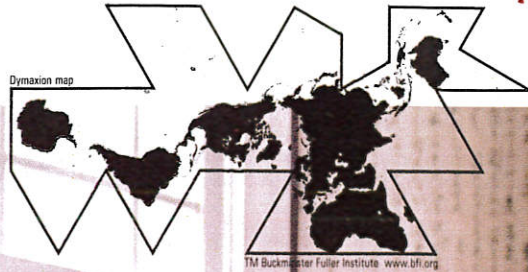


A DIFFERENT WAY TO TRAVEL

# PAPERSKY



IWATE







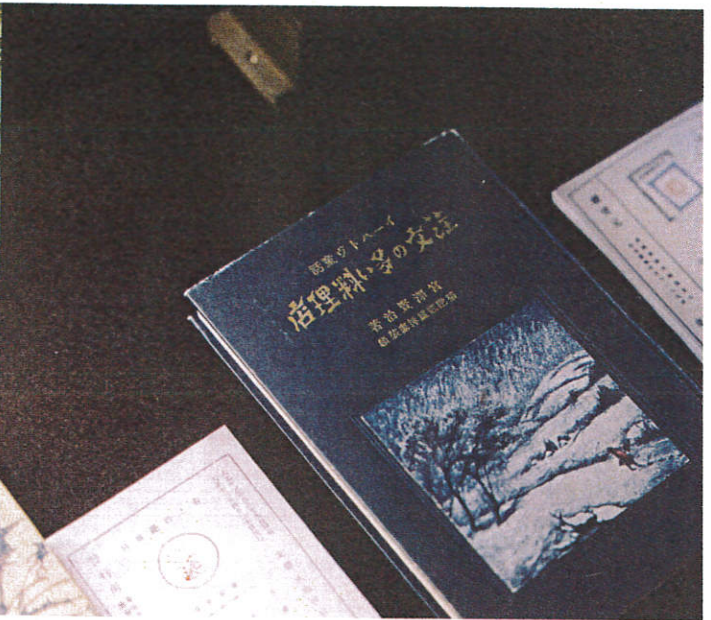
来客に向けた、賢治の有名なひとと言



早池峰と賢治の展示館で作品に登場する鉱石などを見学



山の調査などの際、賢治が利用した「鉛温泉 藤三旅館」



「注文の多い料理店」初版本の美しい装幀に驚く

### 自然の風景から得た創作のエネルギー

その後、賢治の生家跡に立ち寄り、生誕の際に利用された産湯の井戸を訪ね、自費出版された『春と修羅』の活版所跡地にある照井菓子店を覗いた。そして案内してくれた宮沢賢治・花巻市民の会の小原敏男さんと、賢治が命名したイギリス海岸へ。

「賢治が農業学校で生徒を教えている時期、実習の後にこの川へ皆を連れてきて泳いだり、化石を探したりしたんです。『イギリス海岸』という散文にそのころのことが記されていますし、この川沿いは『銀河鉄道の夜』にも影響を与えた想定される場所です」

なんの変哲もないような風景だが、一寸、耳を澄ませば風の音や草木がさやめく音、

水の流れがハーモニーを奏でているのを感じることができる。刻々と変化する日の光や、時折うごめく虫や鳥たち。こうした自然をつぶさに見て感じ、賢治は独自のファンタジーを紡いでいったのだ。

花巻農学校を退職し、本物の百姓になると決心した賢治は29歳のとき、最愛の妹トシが療養生活をしていた別宅に居を構え、近くの畑で野菜や花の栽培に勤しむようになる。学校での指導よりも、毎日、土に触れる百姓の道を選ぶ一大決心したその拠点で、賢治が耕したという土地を眺めた。そういえばこの時期、賢治は『農民芸術概論綱要』を寄稿している。そのなかでは農を「不断の潔く楽しい創造」と唱え、「誰もみな芸術家たる感受をなせ」と説いている。この風景の

なかで毎日、汗を流しながら賢治がこうした想いを募らせていったのかと思うと、一層、田畑の風景が輝かしく見えてきた。

現在の花巻農業高校にかの有名な賢治の銅像が建てられているのを見た。物憂げにも見える立ち姿だが、じつはベートーベンをイメージしたポージングだったとか。写真にも収まっているこのポーズだが、6度も撮影し直すほどのこだわりがあったそうだ。そんな一面に思いを馳せていると、どこからか列車の音が聞こえてくる。小原さんはふとこう口にした。

「賢治は鉄道や電気が好きだったようです。支線ができるたびに自ら乗りに出かけていたという説もあるほど。知れば知るほど、彼の新し目の好きな一面が垣間見えてくる」





イギリス海岸付近で、賢治の見た風景を楽しむ



## Hanamaki Kenji Guide

宮沢賢治イーハトーブ館  
花巻市高松第1地割1-1  
TEL: 0198-31-2116

宮沢賢治童話村・賢治の学校  
花巻市高松第26地割19  
TEL: 0198-31-2211

早池峰と賢治の展示館  
花巻市大迫町大迫3-161  
TEL: 0198-48-2070

ぎんどろ公園  
花巻市若葉町3-339

身照寺  
花巻市石神町389  
TEL: 0198-24-8120

鉛温泉 藤三旅館  
花巻市鉛字中平75-1  
TEL: 0198-25-2311

## 宮沢賢治記念館

童話や詩歌だけでなく、農業、科学、教育、音楽、絵画、宗教など多彩な分野で才を発揮した賢治の全体像をわかりやすく整理しながら展示、紹介する施設。物語に登場する鉱石や賢治愛用のセロなど充実した展示がそろうので、たっぷり時間をかけて巡りたい。館内を出るころには賢治の際限のない好奇心、努力に言葉を失うだろう。

岩手県花巻市矢沢1-1-36 TEL: 0198-31-2319

